

第7期江戸川区障害福祉計画・ 第3期江戸川区障害児福祉計画 策定のための基礎調査

(江戸川区生活ニーズに関するアンケート調査)

結果報告書 概要版

1 調査目的

本調査は令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第7期江戸川区障害福祉計画・第3期江戸川区障害児福祉計画」の策定にあたり、区内の障害や疾病のある方の実態や障害福祉サービス等に対する意向を把握するために実施した。

なお、アンケート調査名は「江戸川区生活ニーズに関するアンケート調査」とした。

2 調査対象者及び回収状況

【障害者・児調査】

| | 調査対象者 | 発送数 | 回収数 | 回収率 | 本文中での表記 |
|---|----------------|--------|------|-------|---------|
| 1 | 身体障害者手帳所持者 | 600件 | 384件 | 64.0% | 身体障害 |
| 2 | 愛の手帳所持者 | 200件 | 114件 | 57.0% | 知的障害 |
| 3 | 精神障害者保健福祉手帳所持者 | 250件 | 142件 | 56.8% | 精神障害 |
| 4 | 難病手当受給者 | 100件 | 63件 | 63.0% | 難病 |
| 5 | 児童通所受給者証所持者 | 100件 | 67件 | 67.0% | 児童通所 |
| 6 | 重症心身障害児・者 | 87件 | 62件 | 71.3% | 重症心身障害 |
| | 合計 | 1,337件 | 832件 | 62.2% | |

【医療的ケア者・児調査】

| | 調査対象者 | 発送数 | 回収数 | 回収率 | 本文中での表記 |
|--|----------|------|------|-------|---------|
| | 医療的ケア者・児 | 163件 | 117件 | 71.8% | 医療的ケア |

3 調査方法と調査期間

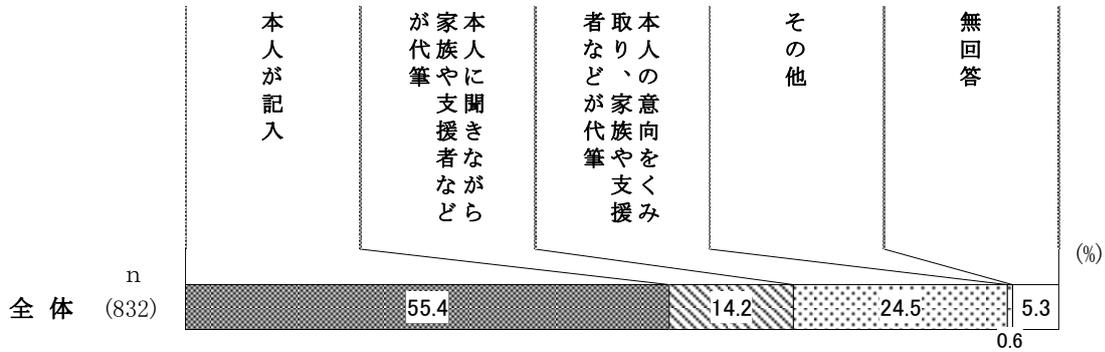
調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：【障害者・児調査】 令和4年10月21日（金）～11月8日（火）

【医療的ケア者・児調査】 令和4年11月1日（火）～11月25日（金）

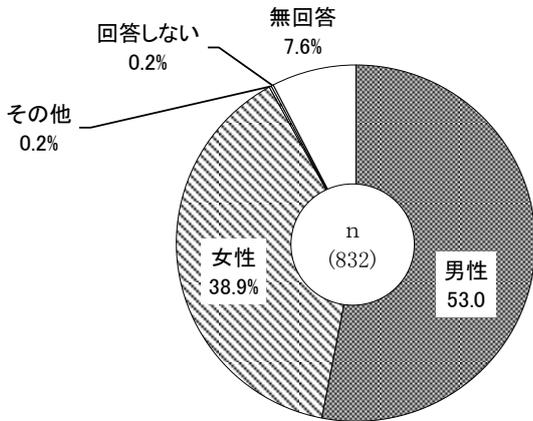
障害者・児調査 結果の概要

回答者の属性

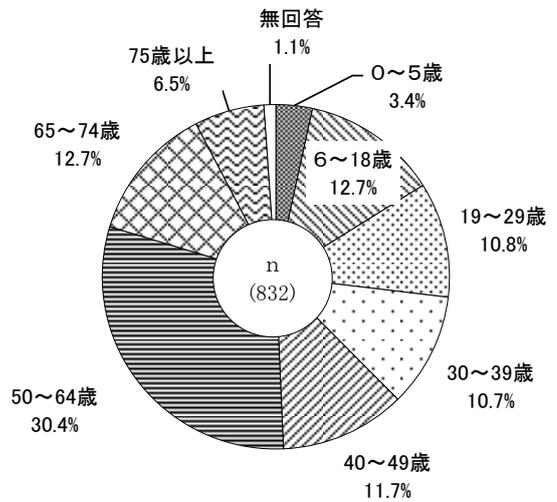


本人の属性

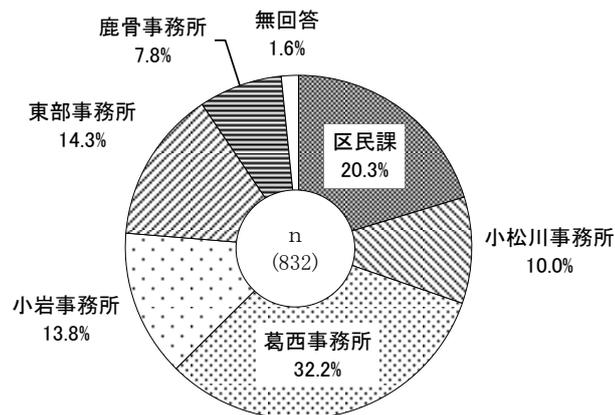
<性別>



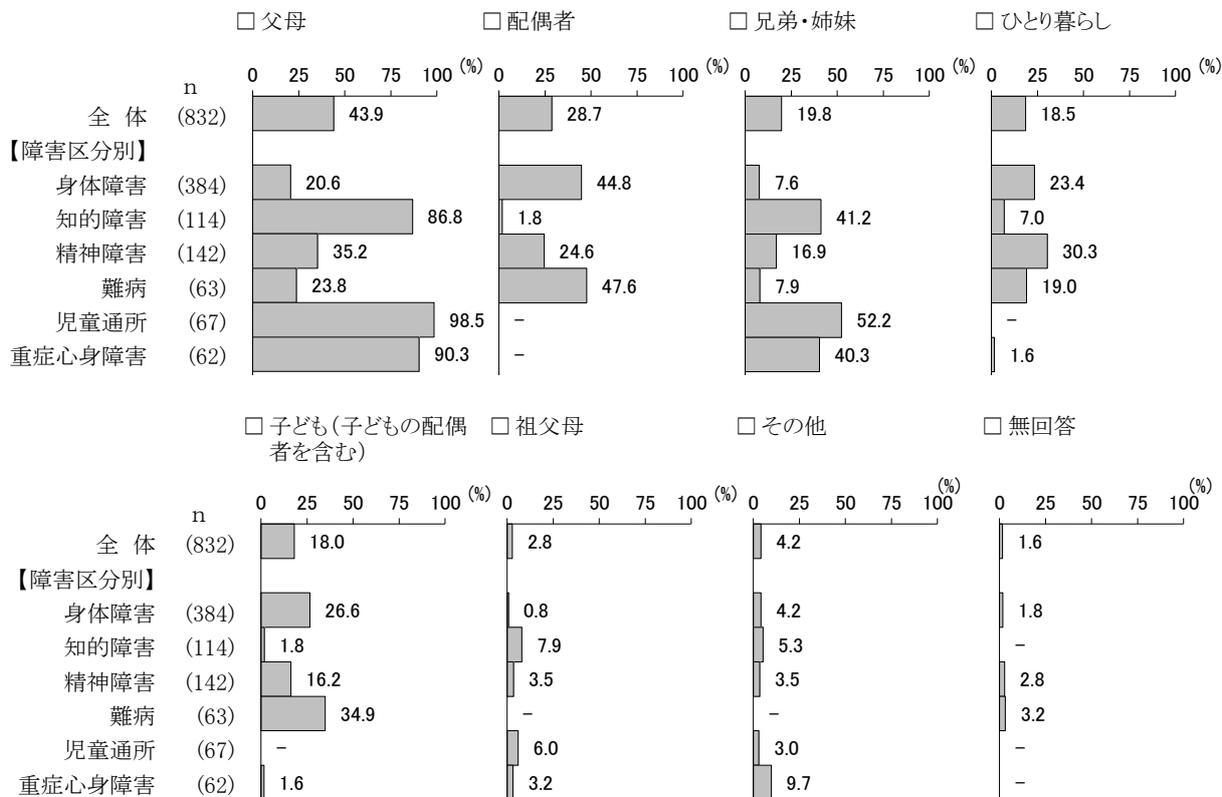
<年齢>



<居住地域>

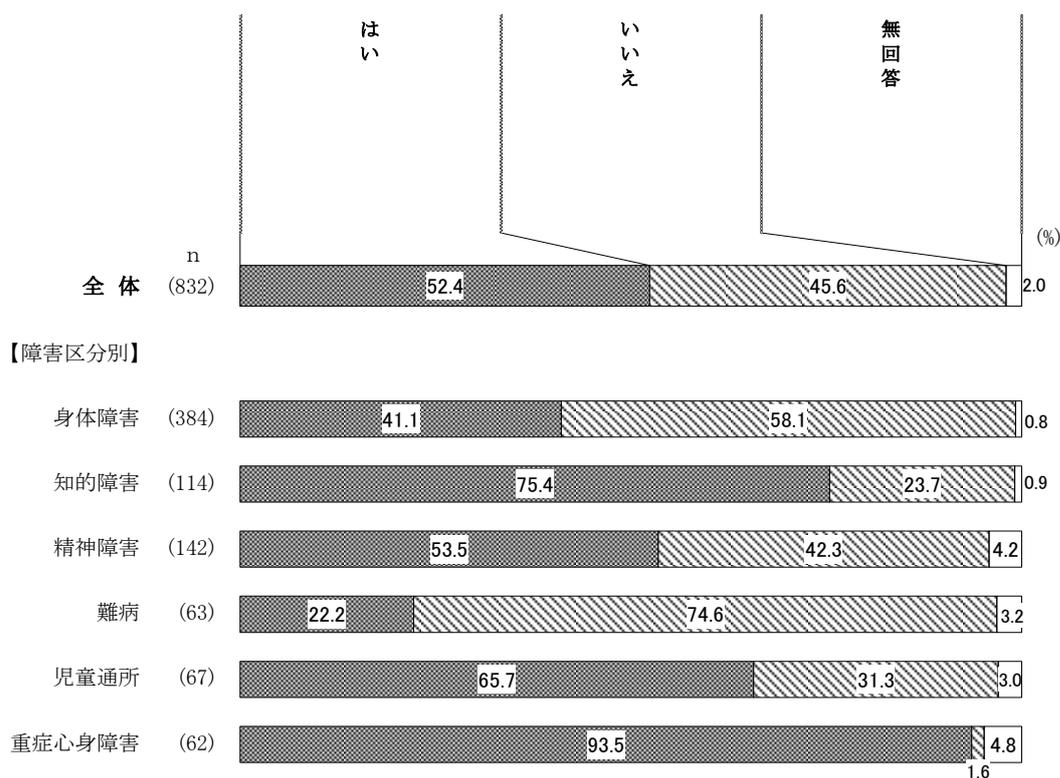


◆同居者：児童通所と重症心身障害では「父母」が9割以上を占め、知的障害でも86.8%と多くなっている。この他、身体障害と難病では「配偶者」が4割台、児童通所では「兄弟・姉妹」も52.2%と多くなっている。



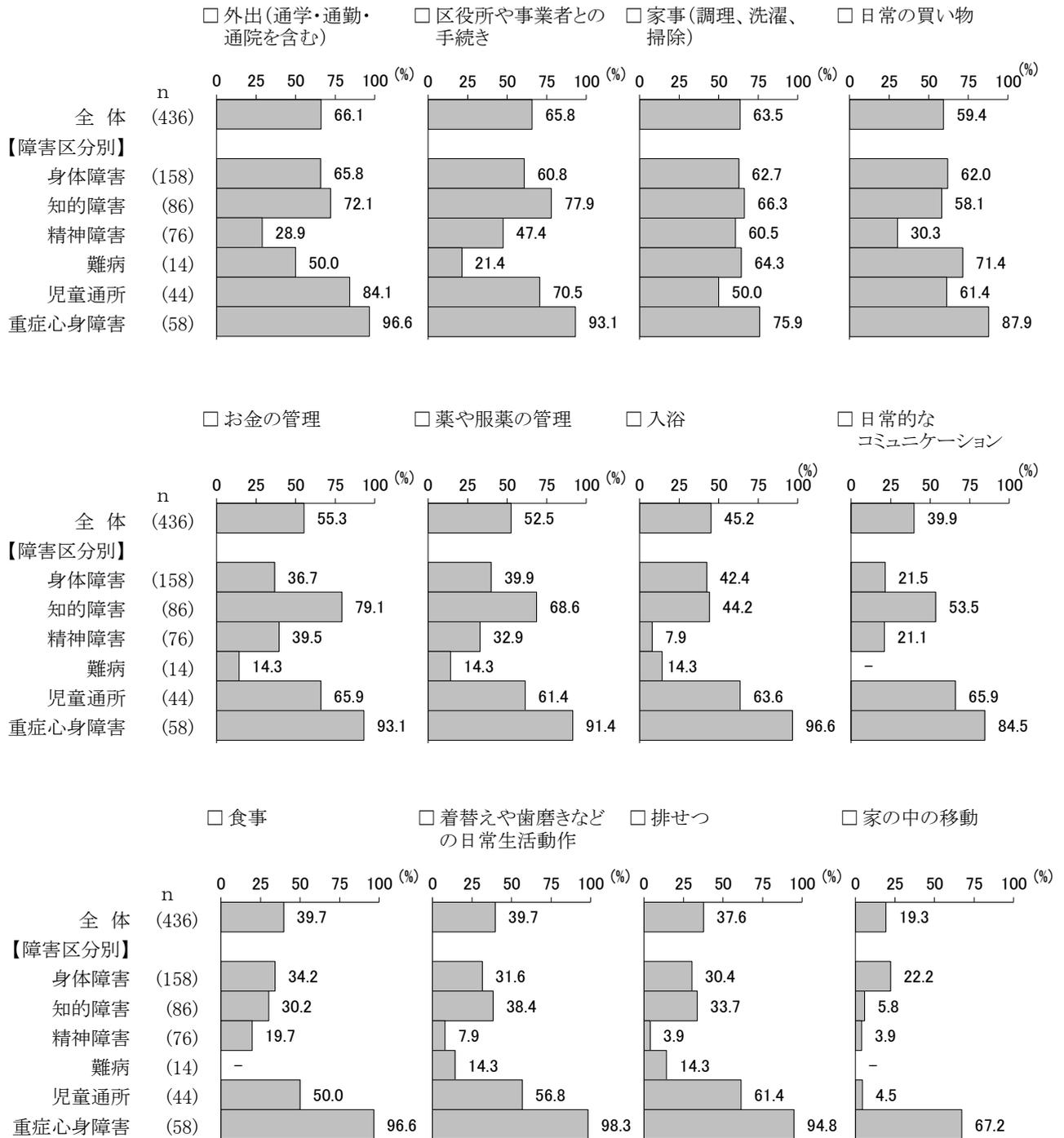
日常生活の手助けについて

◆介助や支援の必要性の有無：「必要」（はい）は重症心身障害が93.5%と最も多く、知的障害が75.4%、児童通所が65.7%となっている。



◆介助や支援が必要な場面：「家事（調理、洗濯、掃除）」はすべての障害で5割以上と区分に関わらず共通した項目となっている。重症心身障害は「外出（通学・通勤・通院を含む）」、「区役所や事業者との手続き」、「お金の管理」、「薬や服薬の管理」、「入浴」、「食事」、「着替えや歯磨きなどの日常生活動作」、「排せつ」で9割を超える。「お金の管理」は知的障害でも約8割と多くなっている。

(複数回答 - 上位12項目)



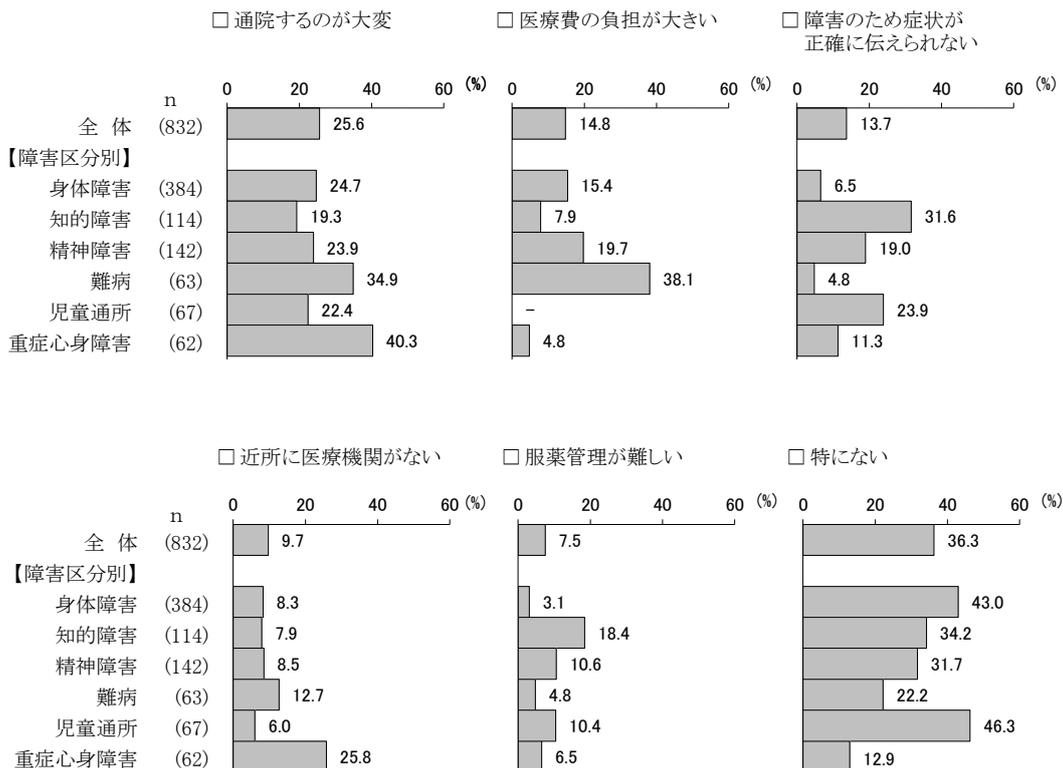
◆主な介助者：「父母」は知的障害（77.9%）、児童通所（77.3%）、重症心身障害（75.9%）が7割台と他の障害区分より多い。「配偶者」は難病が35.7%、次いで身体障害が30.4%と3割を超えている。「ホームヘルパー」は精神障害が13.2%となっている。

| | | （%） | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------|--------------|-------------|-------------|---|-----------------------|-------------|---------------------------------|---|----------------------------|-------------|-------------|
| | | 全 体 | 配 偶 者 | 父 母 | 子 ど も （ 子 ど も の 配 偶 者 を 含 む ） | 兄 弟 ・ 姉 妹 | 祖 父 母 | ホ ー ム ヘ ル パ ー | 施 設 や 病 院 ・ 学 校 の 職 員 | ボ ラ ン テ ィ ア | そ の 他 | 無 回 答 |
| 全 体 | | 436 100.0 | 68 15.6 | 185 42.4 | 25 5.7 | 8 1.8 | 2 0.5 | 32 7.3 | 19 4.4 | - - | 14 3.2 | 83 19.0 |
| 障 害 区 分 別 | 身体障害 | 158 100.0 | 48 30.4 | 25 15.8 | 18 11.4 | 3 1.9 | - - | 17 10.8 | 10 6.3 | - - | 5 3.2 | 32 20.3 |
| | 知的障害 | 86 100.0 | - - | 67 77.9 | - - | 1 1.2 | - - | 3 3.5 | 2 2.3 | - - | 2 2.3 | 11 12.8 |
| | 精神障害 | 76 100.0 | 15 19.7 | 12 15.8 | 7 9.2 | 4 5.3 | 1 1.3 | 10 13.2 | 3 3.9 | - - | 5 6.6 | 19 25.0 |
| | 難病 | 14 100.0 | 5 35.7 | 3 21.4 | - - | - - | - - | 2 14.3 | - - | - - | 2 14.3 | 2 14.3 |
| | 児童通所 | 44 100.0 | - - | 34 77.3 | - - | - - | 1 2.3 | - - | 1 2.3 | - - | - - | 8 18.2 |
| | 重症心身障害 | 58 100.0 | - - | 44 75.9 | - - | - - | - - | - - | 3 5.2 | - - | - - | 11 19.0 |

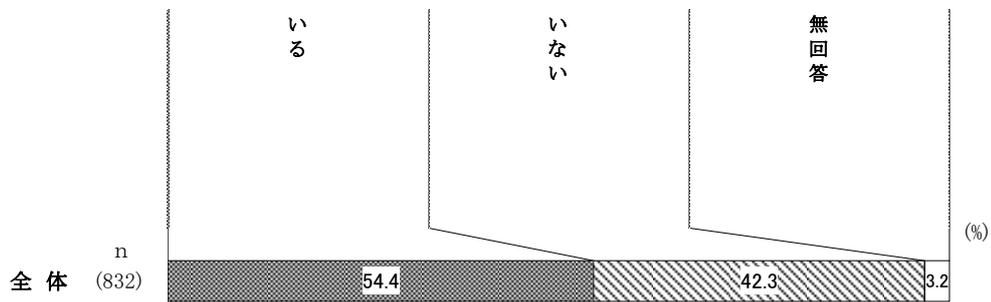
相談や情報入手について

◆健康・医療面での困りごと：重症心身障害では「通院するのが大変」が40.3%、難病では「医療費の負担が大きい」が38.1%と他の障害区分より多くなっている。

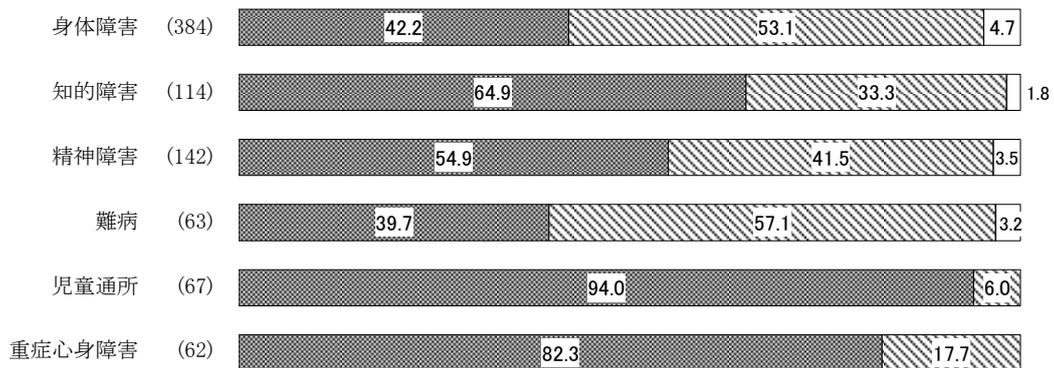
（複数回答－上位5項目＋「特にない」）



◆相談相手（場所）の有無：「いる」は児童通所が94.0%、重症心身障害が82.3%と多くなっている。
 身体障害と難病は「いる」が4割前後と少なく、「いない」が半数以上となっている。

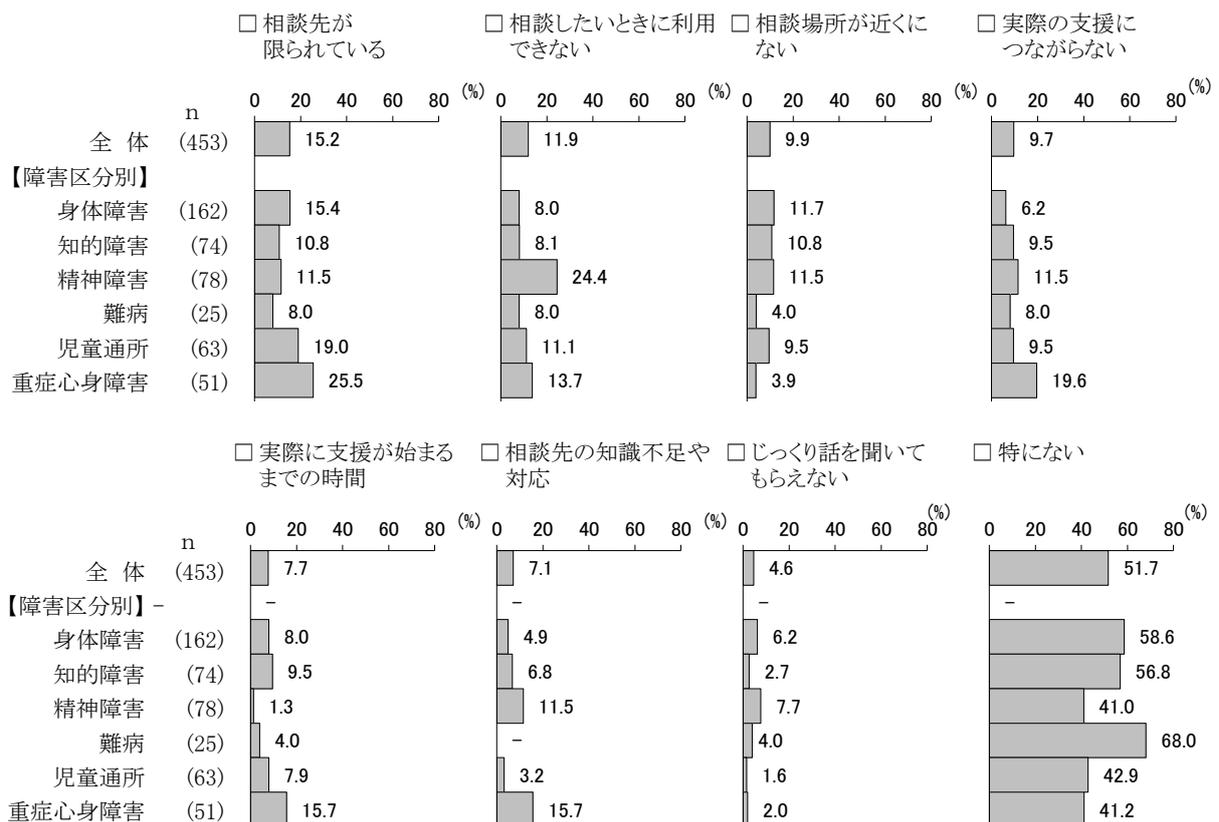


【障害区分別】



◆相談する際に不便なこと：「相談先が限られている」と「実際の支援につながらない」は重症心身障害が、「相談したいときに利用できない（時間など）」では精神障害が他の障害区分よりやや多くなっている。

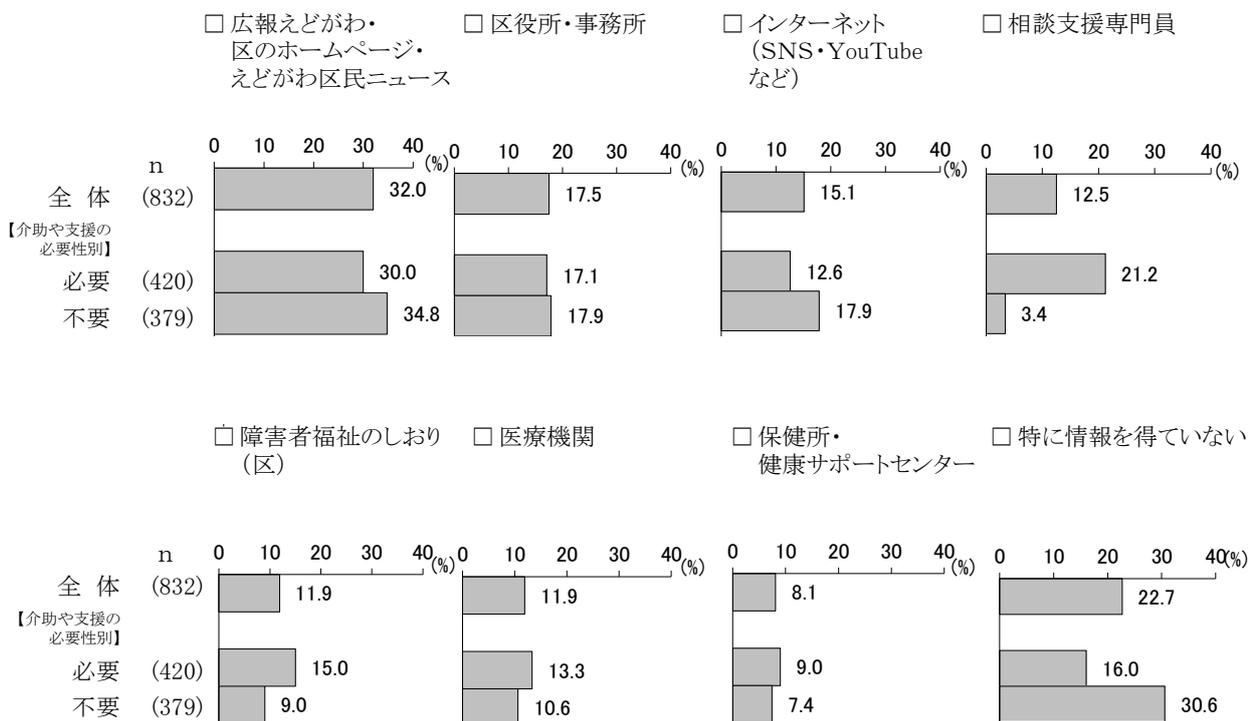
(複数回答 - 上位7項目 + 「特にない」)



◆生活支援に関するサービスの情報の入手源：「広報えどがわ・区のホームページ・えどがわ区民ニュース」は日常の介助や支援を必要とする人（30.0%）、不要とする人（34.8%）の両者ともに3割以上と多くなっている。「相談支援専門員（事業所でサービスの利用計画を立ててくれる人）」、「障害者福祉のしおり（区）」、「医療機関（医師、看護師、リハビリスタッフなど）」、「保健所・健康サポートセンター」は、日常の介助や支援を不要とする人よりも必要とする人の方が多くなっている。

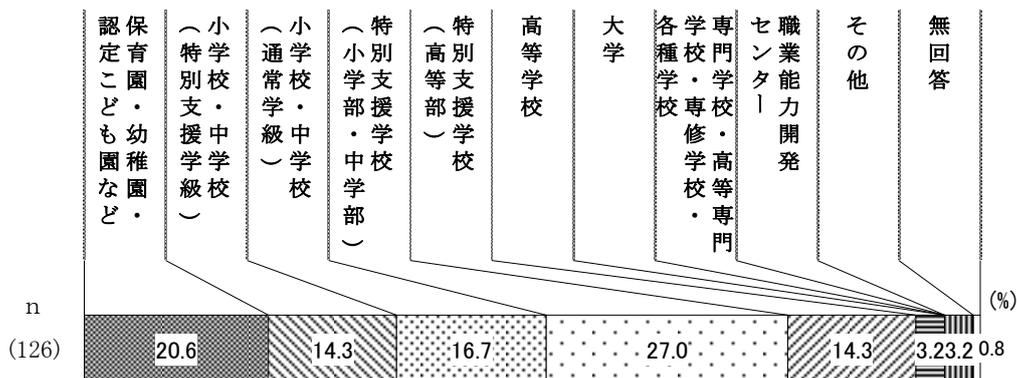
なお、日常の介助や支援を不要とする人で「特に情報を得ていない」は30.6%となっている。

（複数回答－上位7項目＋「特に情報を得ていない」）

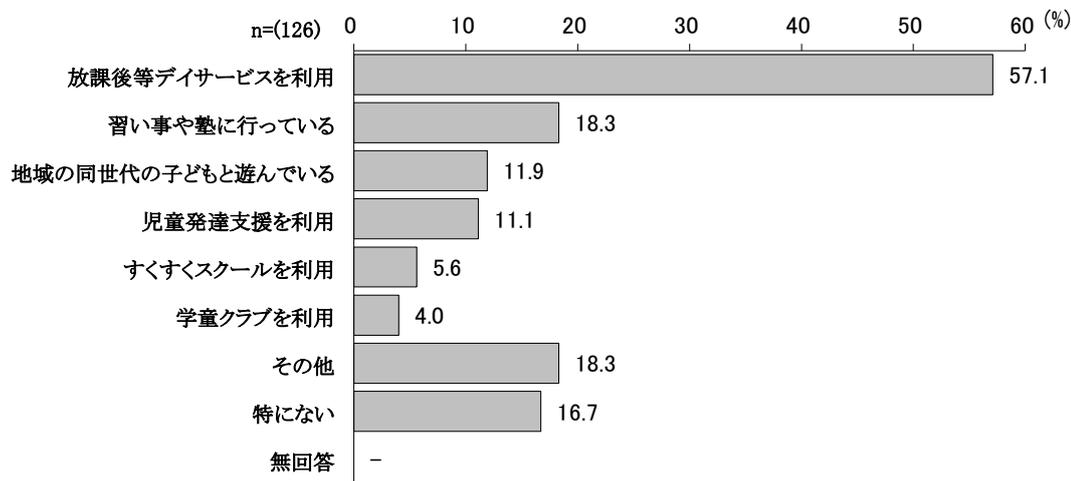


通園・通学について

◆通園・通学先：「特別支援学校（小学部・中学部）」が27.0%と最も多く、「保育園・幼稚園・認定こども園など」が20.6%、「小学校・中学校（通常学級）」（16.7%）、「小学校・中学校（特別支援学級）」「特別支援学校（高等部）」（ともに14.3%）が1割台となっている。

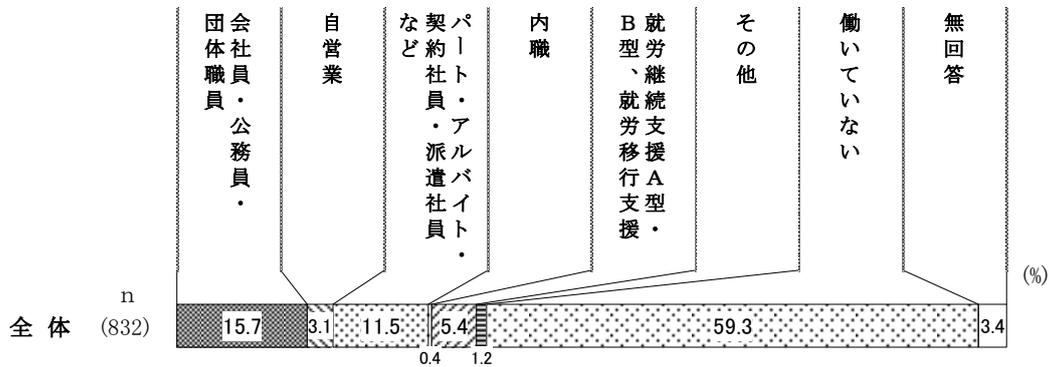


◆放課後や休みの日などの過ごし方：「放課後等デイサービスを利用している」が57.1%を占めている。なお、「特にない」は16.7%となっている。

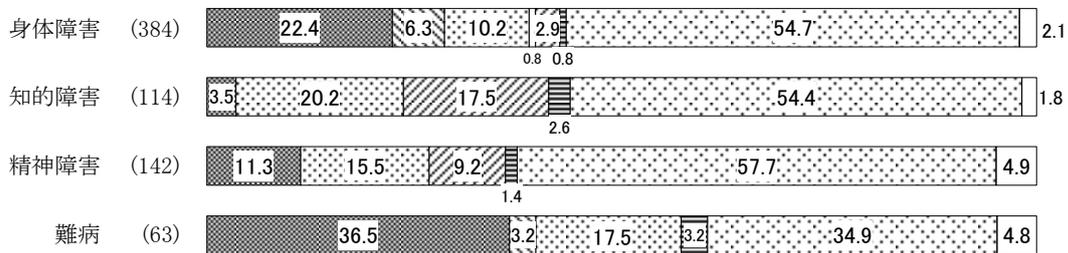


仕事の状況や今後の希望について

◆就労形態：「会社員・公務員・団体職員」は難病が36.5%、身体が22.4%と多くなっている。「働いていない」は身体障害、知的障害、精神障害が5割台となっている。

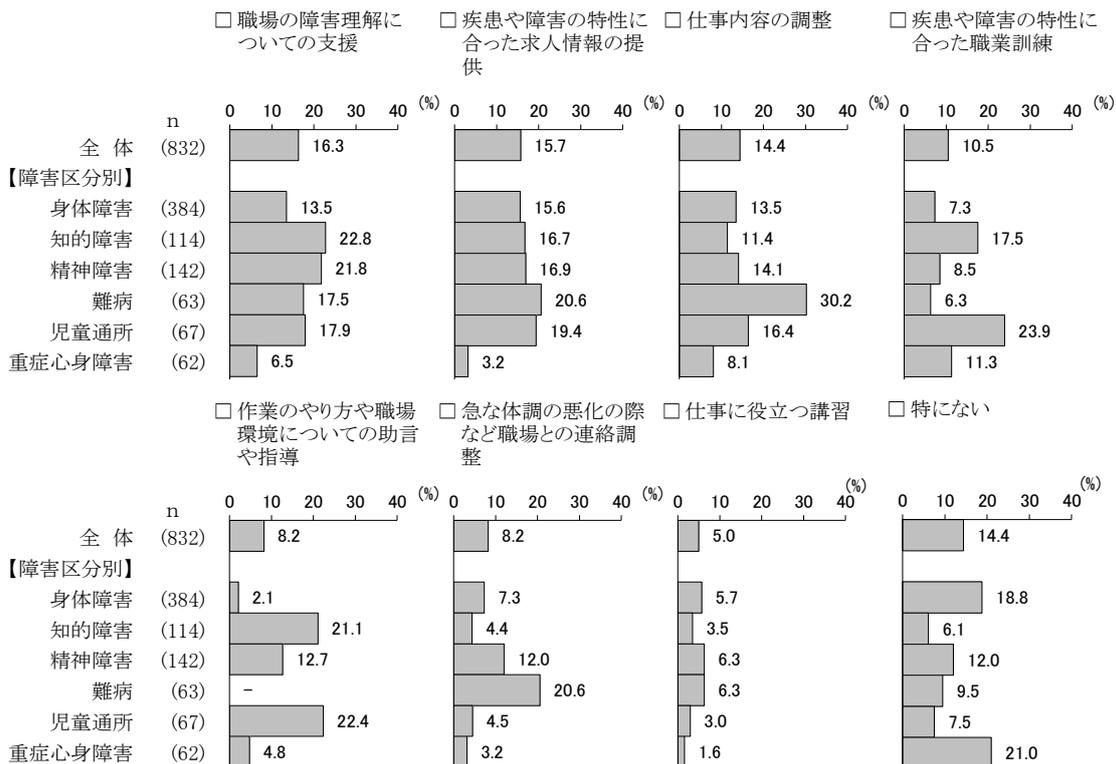


【障害区分別】



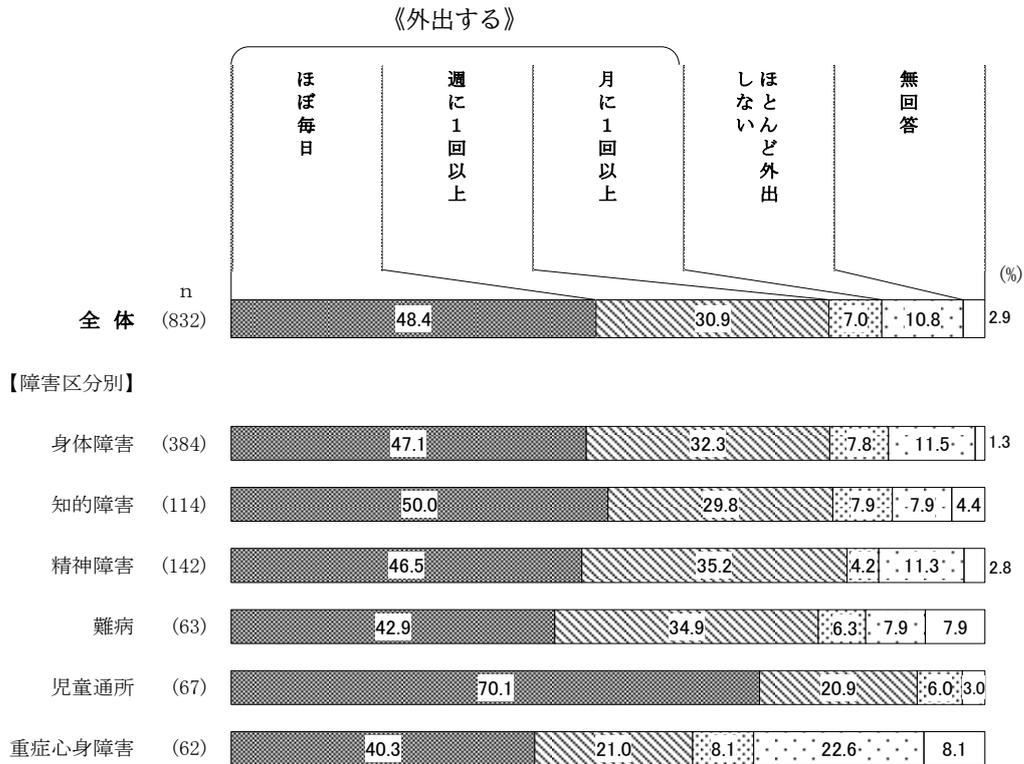
◆必要な就労支援：「職場の障害理解についての支援」は知的障害 (22.8%)、精神障害 (21.8%) が2割台となっている。この他、難病は「仕事内容の調整 (障害に合った仕事内容、勤務日数や時間など)」と「急な体調の悪化の際など職場との連絡調整」、知的障害と児童通所では「作業のやり方や職場環境についての助言や指導」が他の障害区分より多くなっている。

(複数回答 - 上位7項目 + 「特にない」)

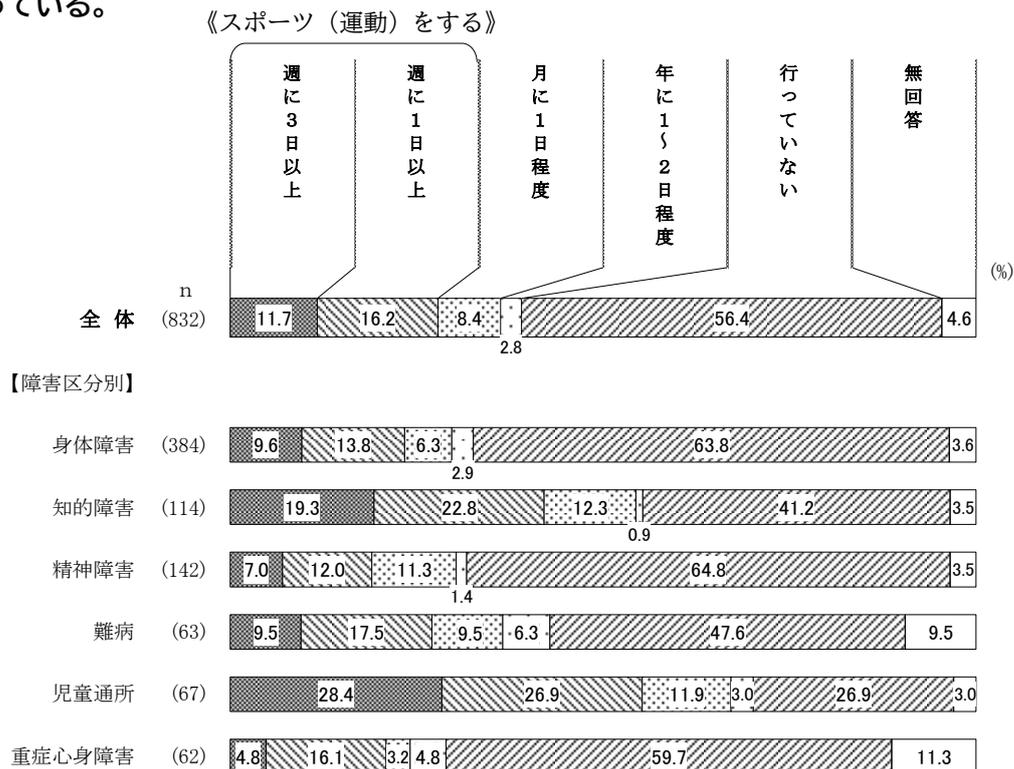


趣味の活動や地域の活動について

◆外出頻度：「ほぼ毎日」は児童通所が70.1%、知的障害が50.0%となっている。《外出する》で見ると、重症心身障害を除いたすべての障害区分で8割以上と多くなっている。



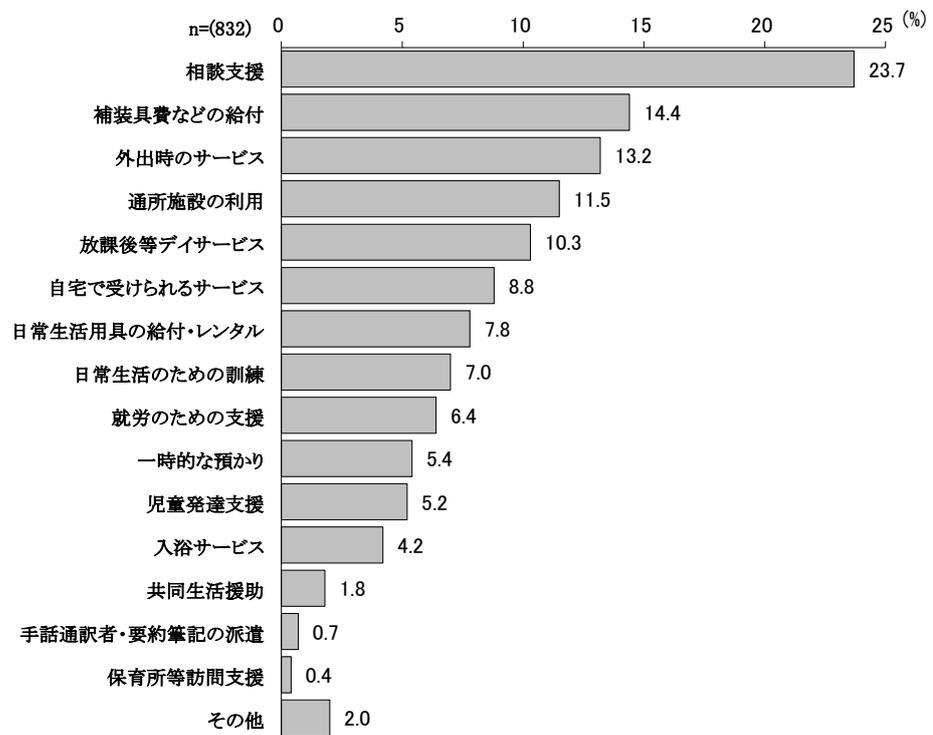
◆スポーツ（運動）実施状況：「週に3日以上」は児童通所が28.4%、知的障害が19.3%と多くなっている。児童通所では「週に1日以上」も26.9%と多く、《スポーツ（運動）をする》は55.3%となっている。一方、「行っていない」は精神障害（64.8%）、身体障害（63.8%）が6割台と多くなっている。



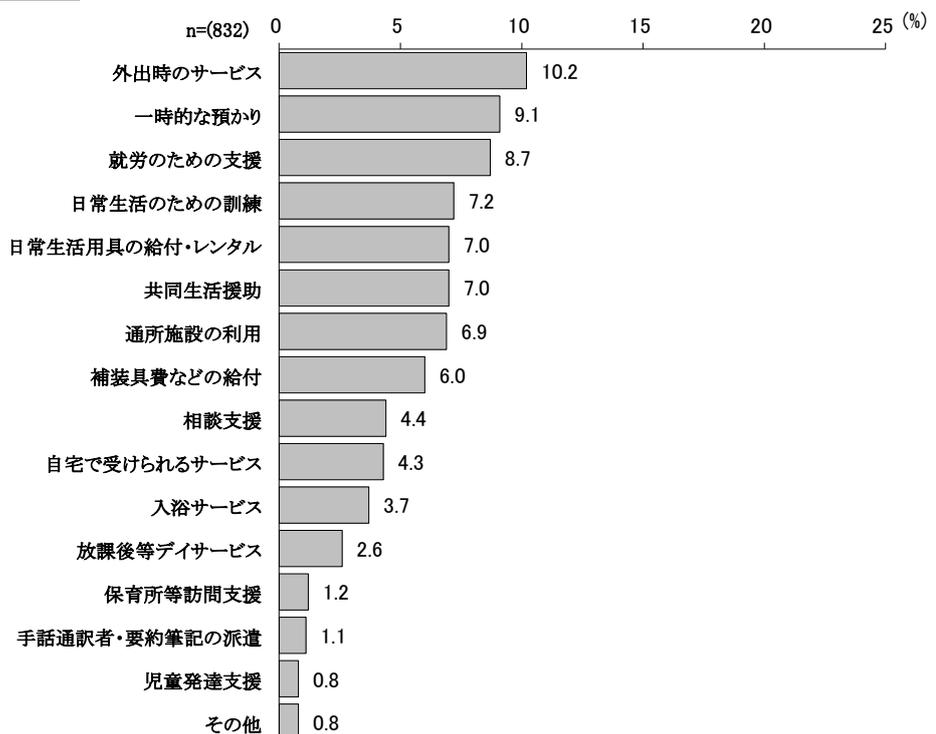
サービスの利用等について

◆障害福祉サービスの利用状況：「現在、利用しているもの」では〈相談支援〉が23.7%と最も多く、〈補装具費などの給付〉（14.4%）、〈外出時のサービス〉（13.2%）、〈通所施設の利用〉（11.5%）、〈放課後等デイサービス〉（10.3%）が1割台とやや多い。「今後、利用したいもの」では〈外出時のサービス〉が10.2%と多くなっている。

現在利用しているサービス

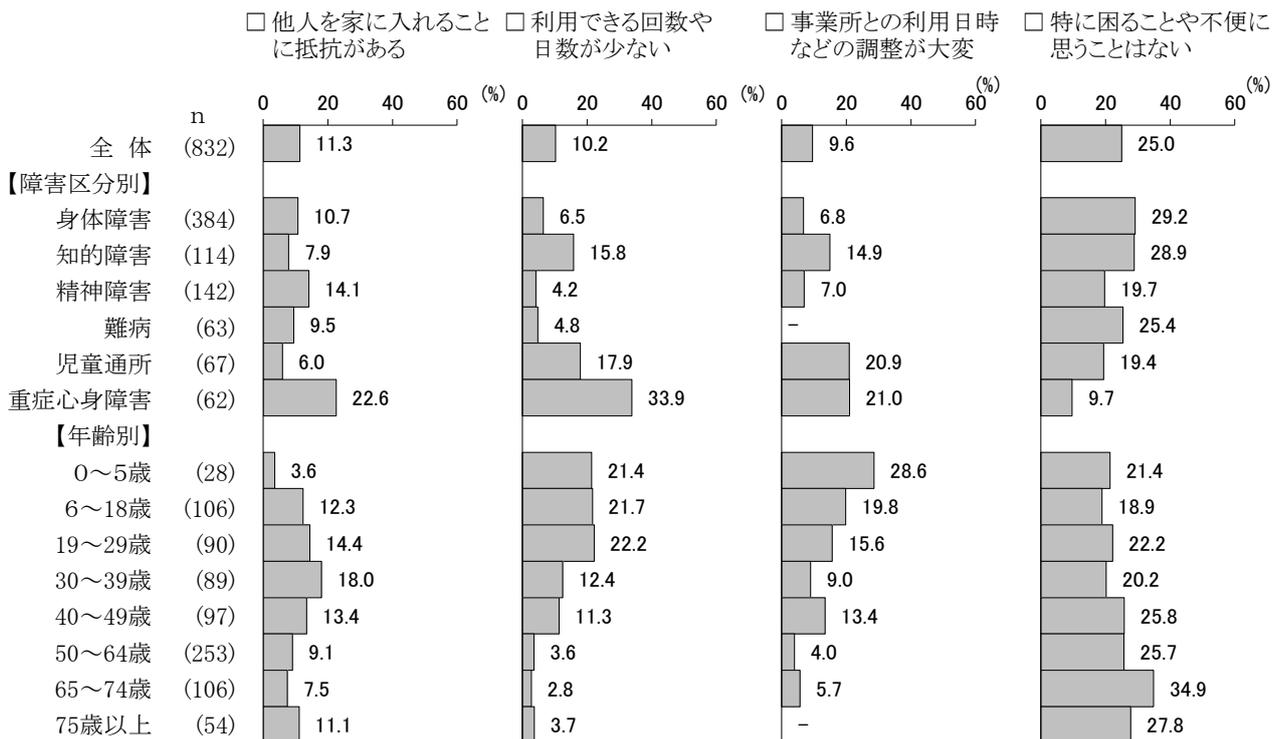
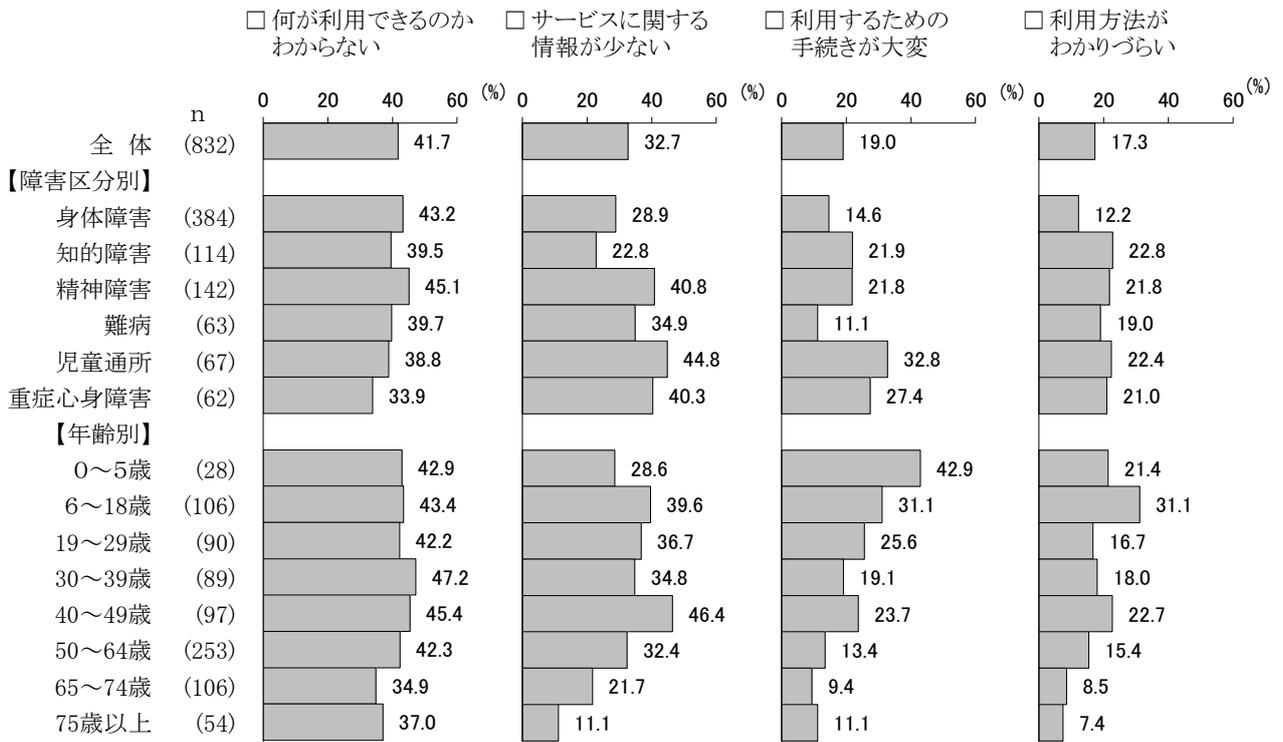


今後、利用したいサービス



◆障害福祉サービスを利用する際の不便：いずれの障害区分でも「何が利用できるのかわからない」と「サービスに関する情報が少ない」が多い。精神障害では「何が利用できるのかわからない」、児童通所では「サービスに関する情報が少ない」、重症心身障害では「他人を家に入れることに抵抗がある」、「利用できる回数や日数が少ない」が他の障害区分より多い。

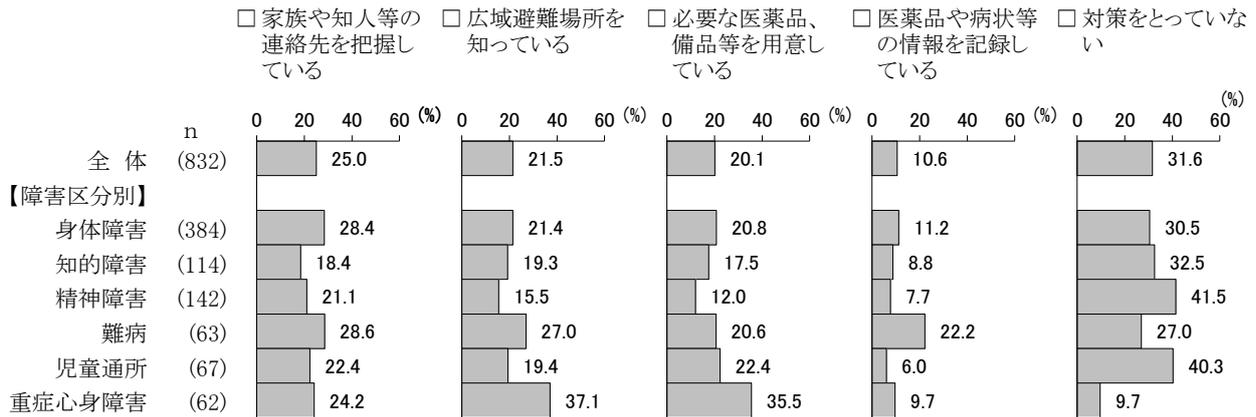
(複数回答－上位7項目＋「特に困ることや不便に思うことはない」)



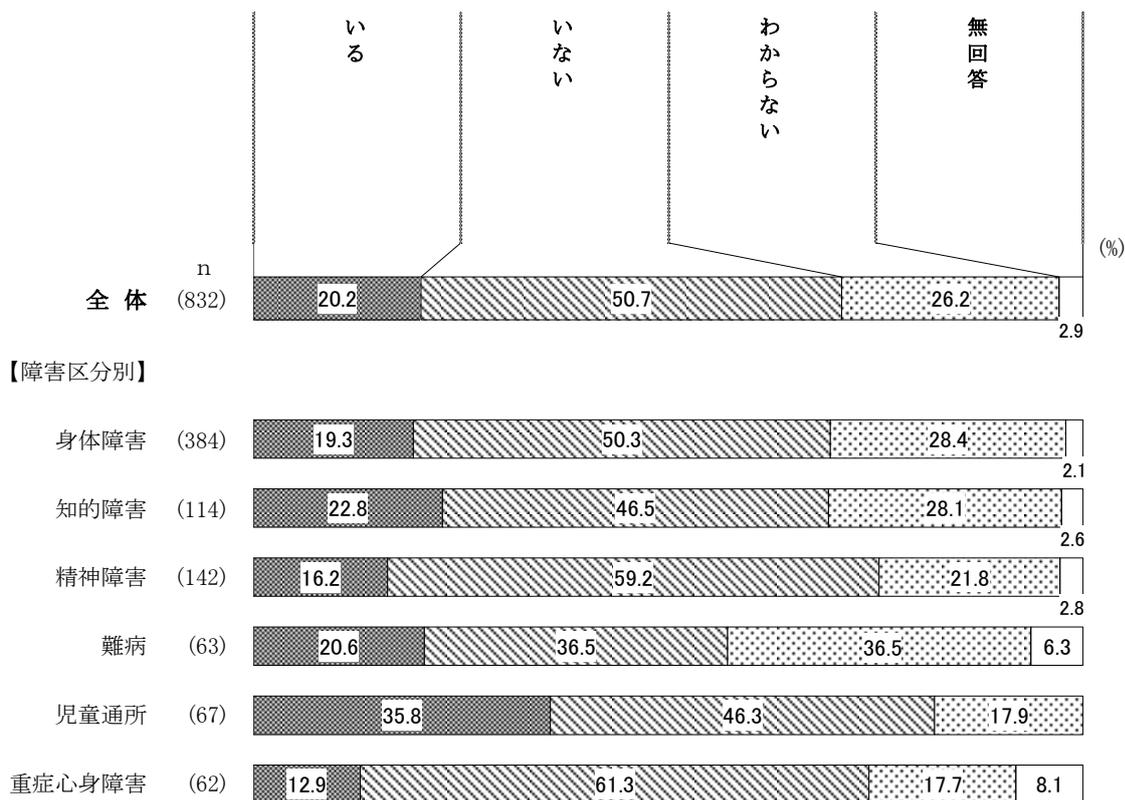
災害時の対応について

◆災害に備えた特別な対策：重症心身障害では「災害時に避難する広域避難場所を知っている」と「災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、難病や障害の状況に応じて必要な医薬品、備品、食料等を用意している」、難病では「避難所等において医療が受けられるよう、医薬品や病状等の情報を記録している」が他の障害より多くなっている。

(複数回答－上位4項目＋「対策をとっていない」)



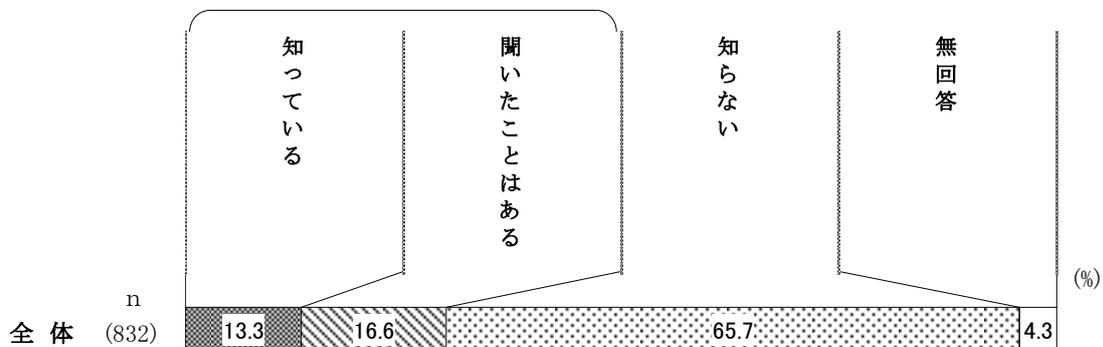
◆近所に助けてくれる人の有無：「いる」は児童通所が35.8%と多く、「いない」は重症心身障害と精神障害が6割前後と多くなっている。



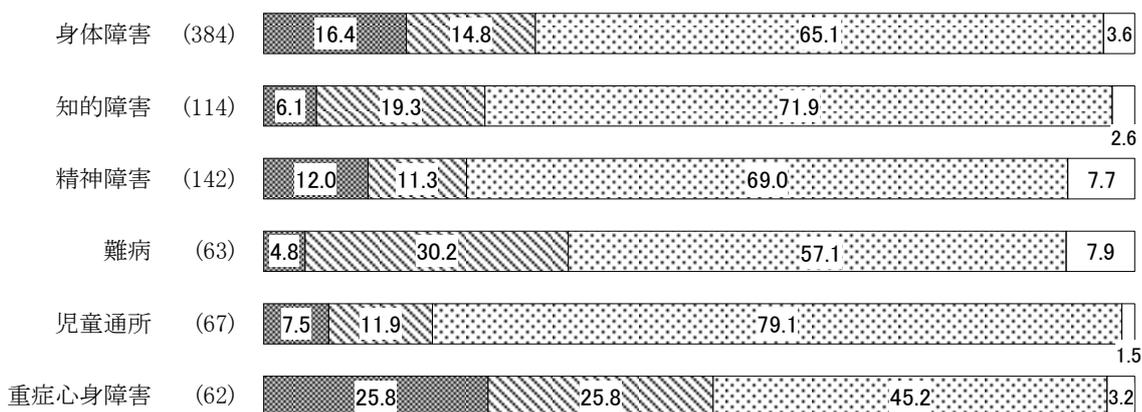
障害者差別について

◆障害者差別解消法の理解：「知っている」は重症心身障害が25.8%と多く、《認知度》でも51.6%と他の障害区分より多くなっている。

《認知度》

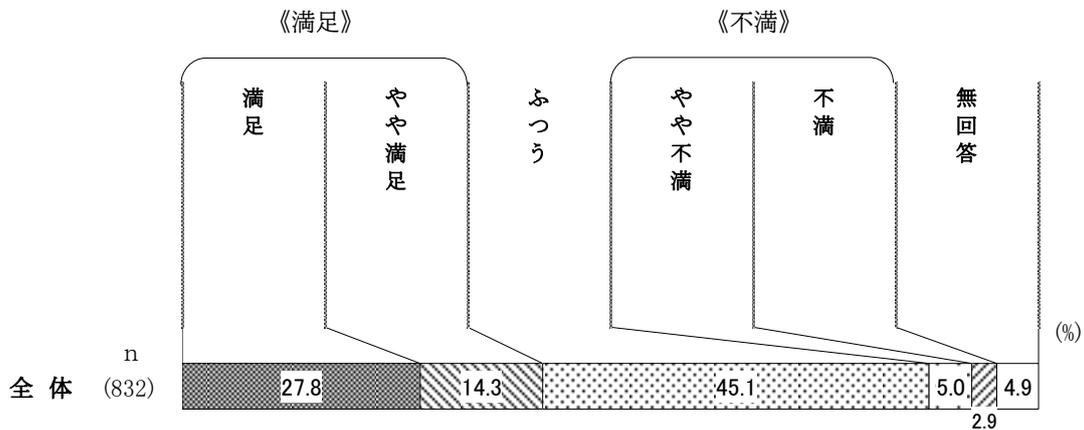


【障害区分別】

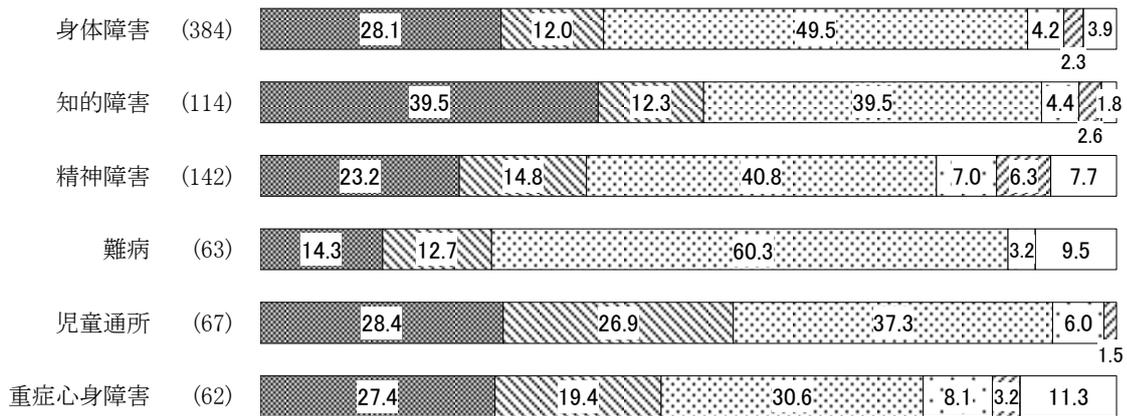


現在の暮らしと今後のことについて

◆江戸川区での暮らしの満足度：《満足》は児童通所（55.3%）、知的障害（51.8%）が5割台、重症心身障害（46.8%）、身体障害（40.1%）が4割台となっている。《不満》は精神障害と重症心身障害が1割台と他の障害区分よりやや多くなっている。



【障害区分別】



◆希望する将来の暮らし：「今の家族と暮らしたい」は身体障害（53.6%）、重症心身障害（51.6%）、難病（50.8%）が5割台となっている。精神障害では「ひとりで暮らしたい」が17.6%と他の障害区分より多くなっている。

| | | (%) | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------|--------------|--|---|--|--------------------------------------|---|--|---|---|---|-------------|-----------------------|-------------|----------|
| | | 全 体 | 今 の 家 族 と 暮 ら し た い | ひ と り で 暮 ら し た い | 新 た に 家 庭 を 持 っ て 暮 ら し た い | 仲 間 と 暮 ら し た い | グ ル ー プ ホ ー ム で 暮 ら し た い | 介 護 保 険 施 設 で 暮 ら し た い | 障 害 者 入 所 施 設 で 暮 ら し た い | す る な ど し て 暮 ら し た い | 仲 間 と 部 屋 を シ ェ ア | そ の 他 | わ か ら な い | 無 回 答 | |
| 全 体 | | 832 100.0 | 393 47.2 | 90 10.8 | 49 5.9 | 26 3.1 | 23 2.8 | 20 2.4 | 4 0.5 | 15 1.8 | 153 18.4 | 59 7.1 | 20 2.4 | 5 0.6 | |
| 障 害 区 分 別 | 身体障害 | 384 100.0 | 206 53.6 | 45 11.7 | 13 3.4 | 7 1.8 | 16 4.2 | 4 1.0 | 3 0.8 | 5 1.3 | 65 16.9 | 20 5.2 | 5 1.3 | 2 0.5 | |
| | 知的障害 | 114 100.0 | 45 39.5 | 11 9.6 | 9 7.9 | 10 8.8 | 1 0.9 | 6 5.3 | - | 3 2.6 | 24 21.1 | 5 4.4 | 3 2.6 | 1 0.9 | |
| | 精神障害 | 142 100.0 | 48 33.8 | 25 17.6 | 12 8.5 | - | - | 4 2.8 | - | - | 4 2.8 | 32 22.5 | 17 12.0 | 4 2.8 | 2 1.4 |
| | 難病 | 63 100.0 | 32 50.8 | 5 7.9 | 11 17.5 | 1 1.6 | 1 1.6 | 1 1.6 | - | - | - | 4 6.3 | 8 12.7 | - | 1 1.6 |
| | 児童通所 | 67 100.0 | 30 44.8 | 4 6.0 | 4 6.0 | 2 3.0 | 1 1.5 | - | - | 1 1.5 | 1 1.5 | 22 32.8 | 2 3.0 | 1 1.5 | 1 1.5 |
| | 重症心身障害 | 62 100.0 | 32 51.6 | - | - | - | 6 9.7 | - | 9 14.5 | - | 2 3.2 | 6 9.7 | 7 11.3 | - | 1 1.6 |

◆充実すべき障害者福祉施策：「いつでも気軽に相談できる窓口」はすべての障害区分であげられ、児童通所、重症心身障害以外では1位となっている。「障害の有無にかかわらず互いに尊重し支え合う社会の推進」は重症心身障害を除く各区分で、「介助している家族への支援（緊急時の対応など）」は精神障害、児童通所を除く各区分で上位にあげられている。

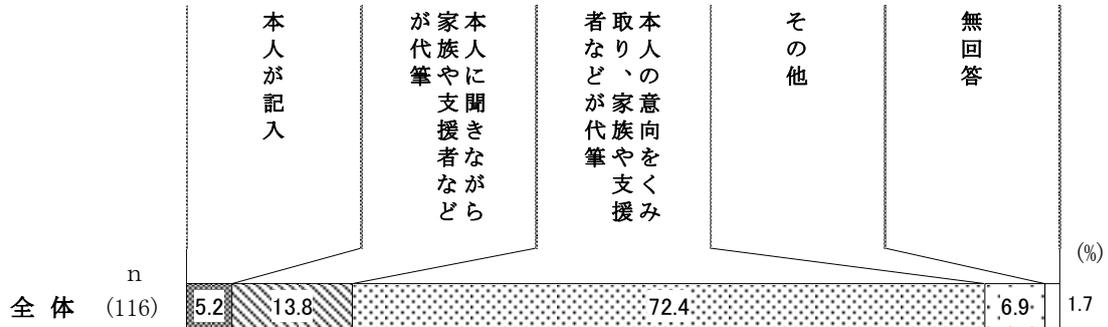
（複数回答－障害種別 上位5位表）

| | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 |
|----------------|------------------------|-------------------------|-----------------------------------|------------------------|------------------------|
| 全 体 n=832 | 気軽に相談できる 窓口 33.2 | 支え合う社会の 推進 16.1 | 家族への支援 13.6 | 災害時の支援 13 | 就労支援 情報収集 11.7 |
| 身体障害 n=384 | 気軽に相談できる 窓口 39.3 | 支え合う社会の 推進 16.7 | 情報収集 14.6 | 災害時の支援 14.1 | 家族への支援 12.8 |
| 知的障害 n=114 | 気軽に相談できる 窓口 28.9 | 就労支援 19.3 | 支え合う社会の 推進 18.4 | 放課後・休日サー ビス 18.4 | 家族への支援 15.8 |
| 精神障害 n=142 | 気軽に相談できる 窓口 30.3 | 支え合う社会の 推進 16.2 | 就労支援 14.8 | 住宅支援 14.1 | 情報収集 12.0 |
| 難病 n=63 | 気軽に相談できる 窓口 38.1 | 家族への支援 17.5 | 情報収集 17.5 | 支え合う社会の 推進 14.3 | 災害時の支援 9.5 |
| 児童通所 n=67 | 児童療育・保護者 支援 47.8 | 放課後・休日の サービス 28.4 | 気軽に相談できる 窓口 20.9 | 早期発見・早期 療育 16.4 | 支え合う社会の 推進 14.9 |
| 重症心身障害 n=62 | 家族への支援 48.4 | 災害時の支援 32.3 | 放 課 後 ・ 休 日 の サービ ス 29.0 | 移動支援 19.4 | 気軽に相談できる 窓口 17.7 |

医療的ケア者・児調査 結果の概要

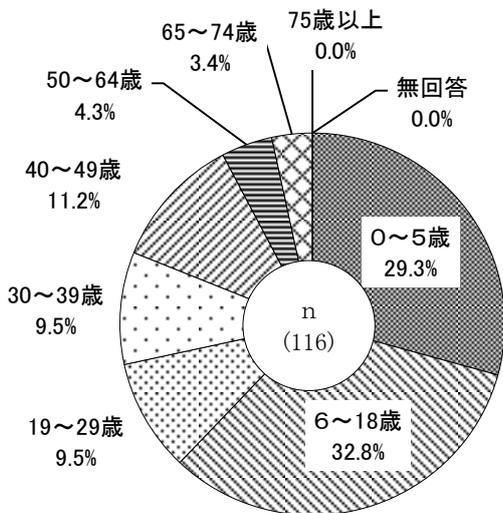
回答者の属性

<調査票の回答者>

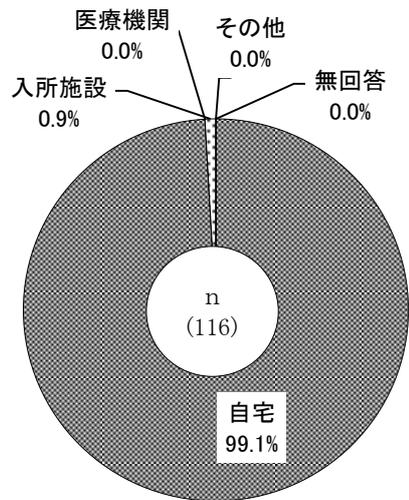


本人の属性

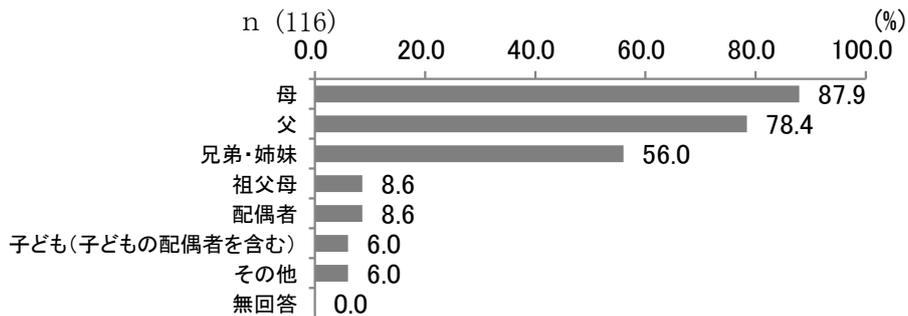
<年齢>



<現在の生活場所>

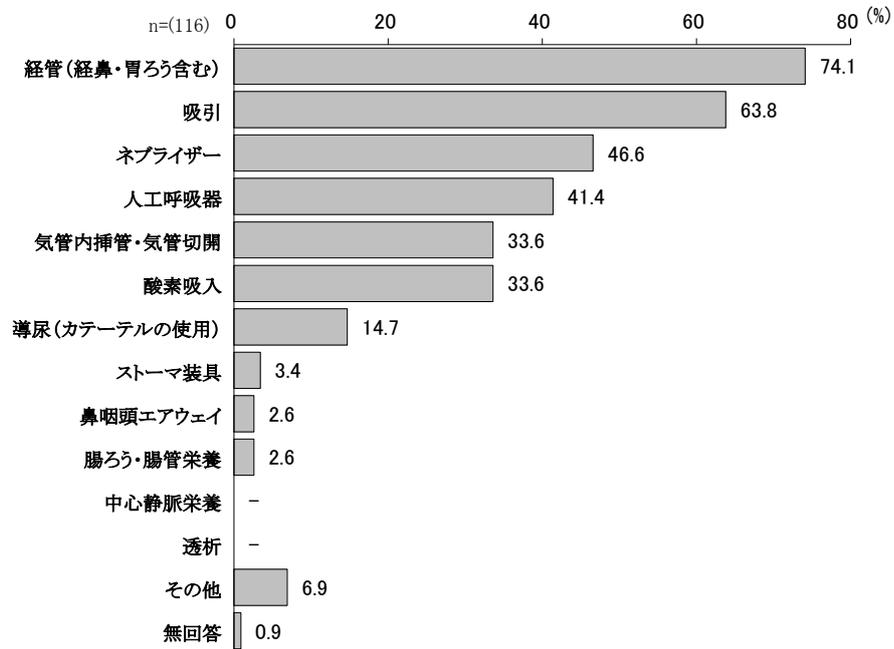


<同居者>

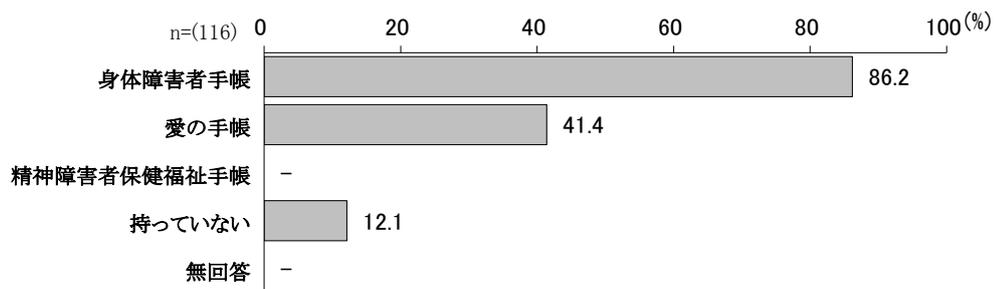


本人の状況について

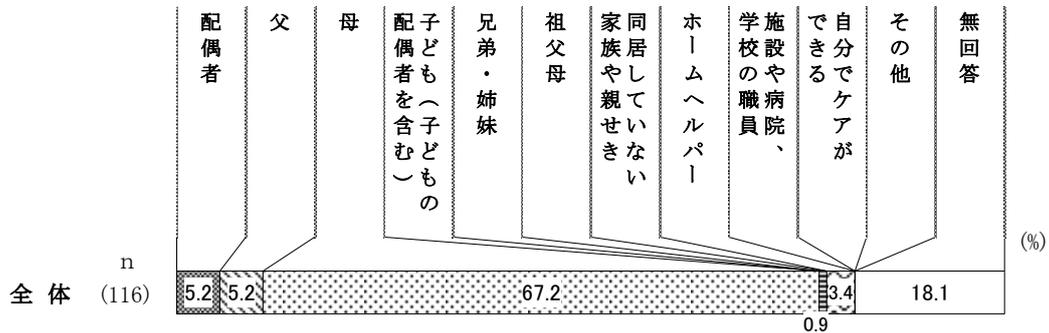
◆必要とする医療的ケア：「経管（経鼻・胃ろう含む）」が最も多く74.1%となっている。



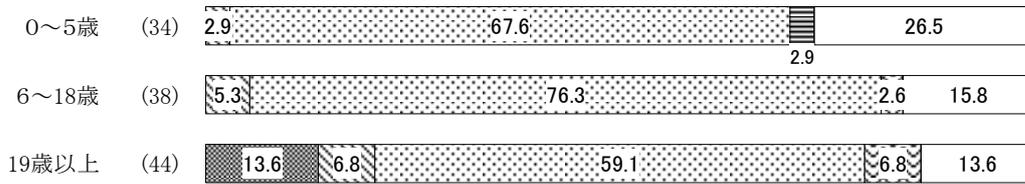
◆障害者手帳の有無：「身体障害者手帳を持っている」が最も多く86.2%となっている。



◆主な介護者：「母」は年齢3区分のすべて6割から7割と最も多くなっている。

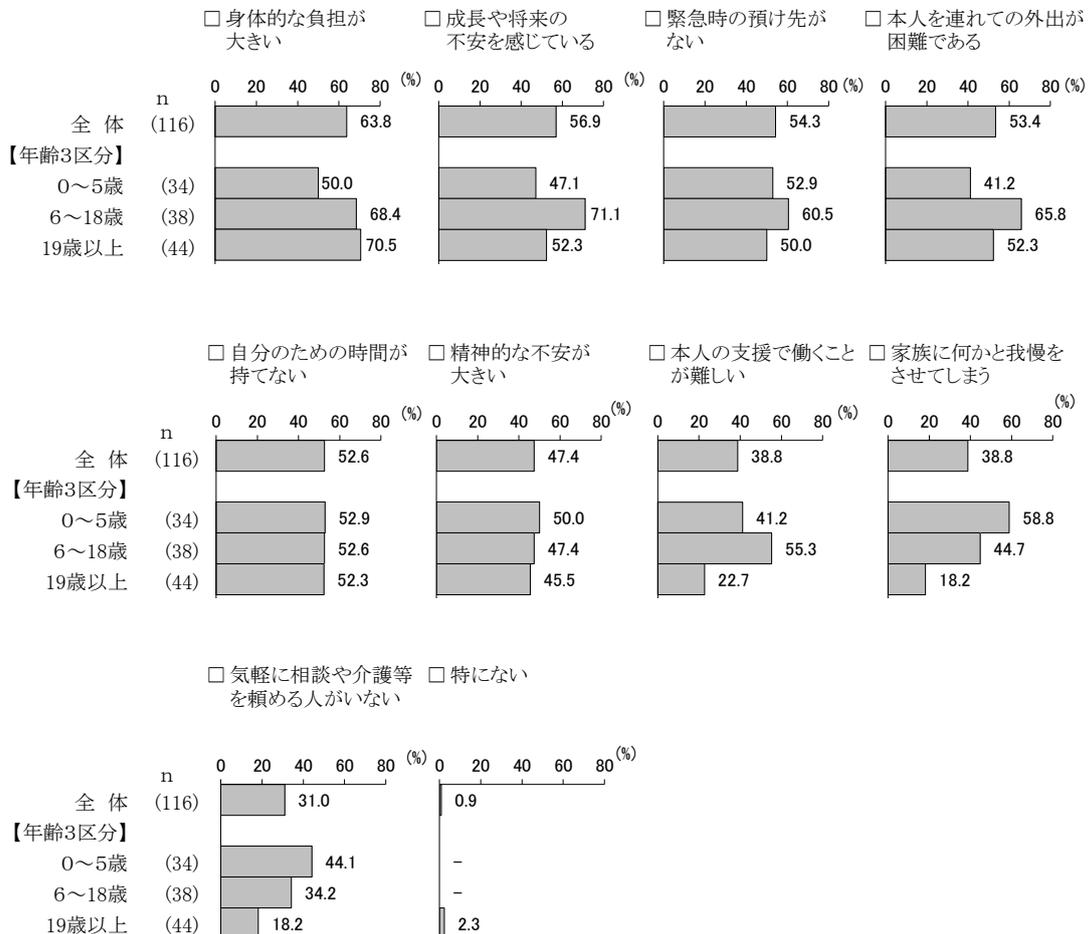


【年齢3区分】



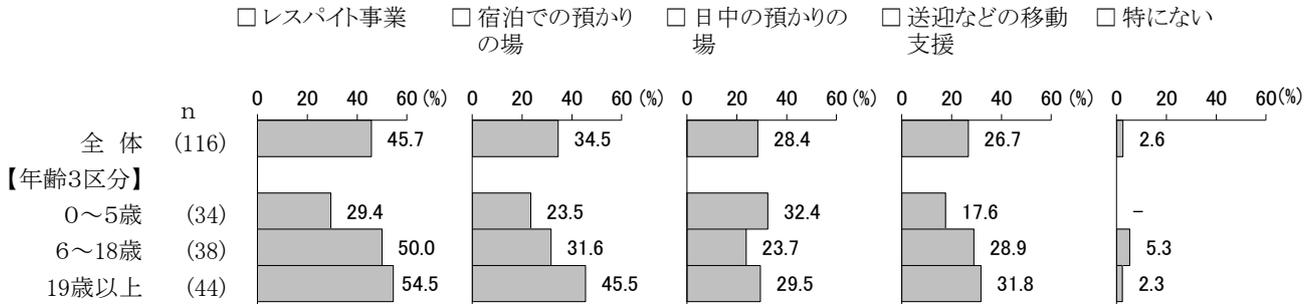
◆介護の悩みや不安：「成長や将来の不安を感じている」は6～18歳が71.1%と最も多く、「睡眠不足や疲労など、身体的な負担が大きい」は19歳以上が70.5%と多くなっている。また「家族（子、兄弟・姉妹など）に何かと我慢させてしまう」、「何かあった時に、気軽に相談や介護などを頼める人がいない」は年齢が上がるにつれて、少なくなっている。

(複数回答－上位9項目＋「特にない」)



◆介護者の負担軽減のために必要なサービス：「レスパイト事業（介護者に休業してもらうための事業）」は19歳以上が54.5%と最も多くなっている。また「レスパイト事業（介護者に休業してもらうための事業）」、「宿泊での預かりの場」、「送迎などの移動支援」は年齢が上がるにつれて、多くなっている。

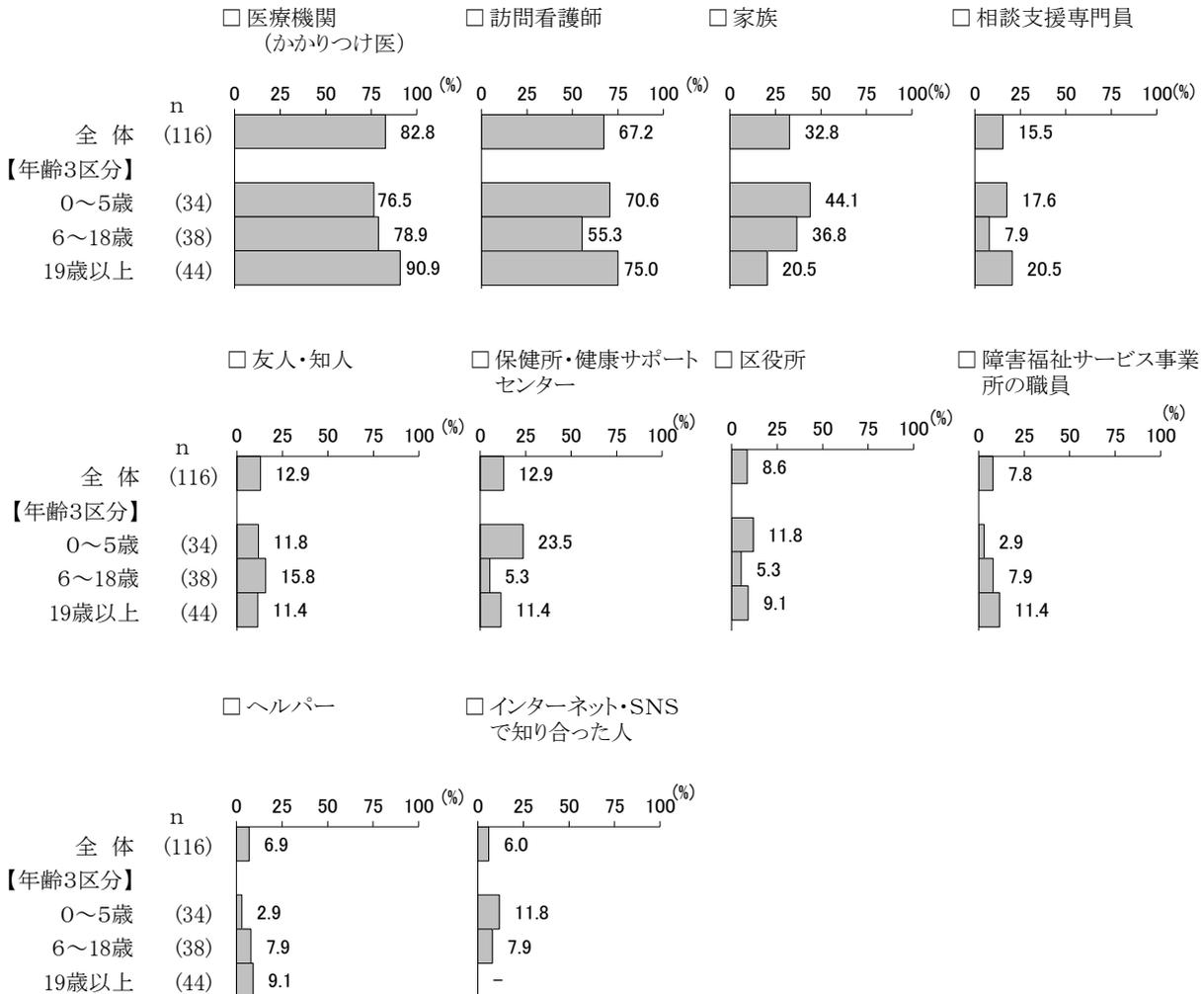
(複数回答－上位4項目＋「特にない」)



相談や情報入手について

◆相談相手（場所）：「医療機関（かかりつけ医）」は19歳以上が90.9%と最も多くなっている。「家族」は0～5歳（44.1%）、6～18歳（36.8%）、19歳以上（20.5%）と年齢が上がるにつれて少なくなっている。

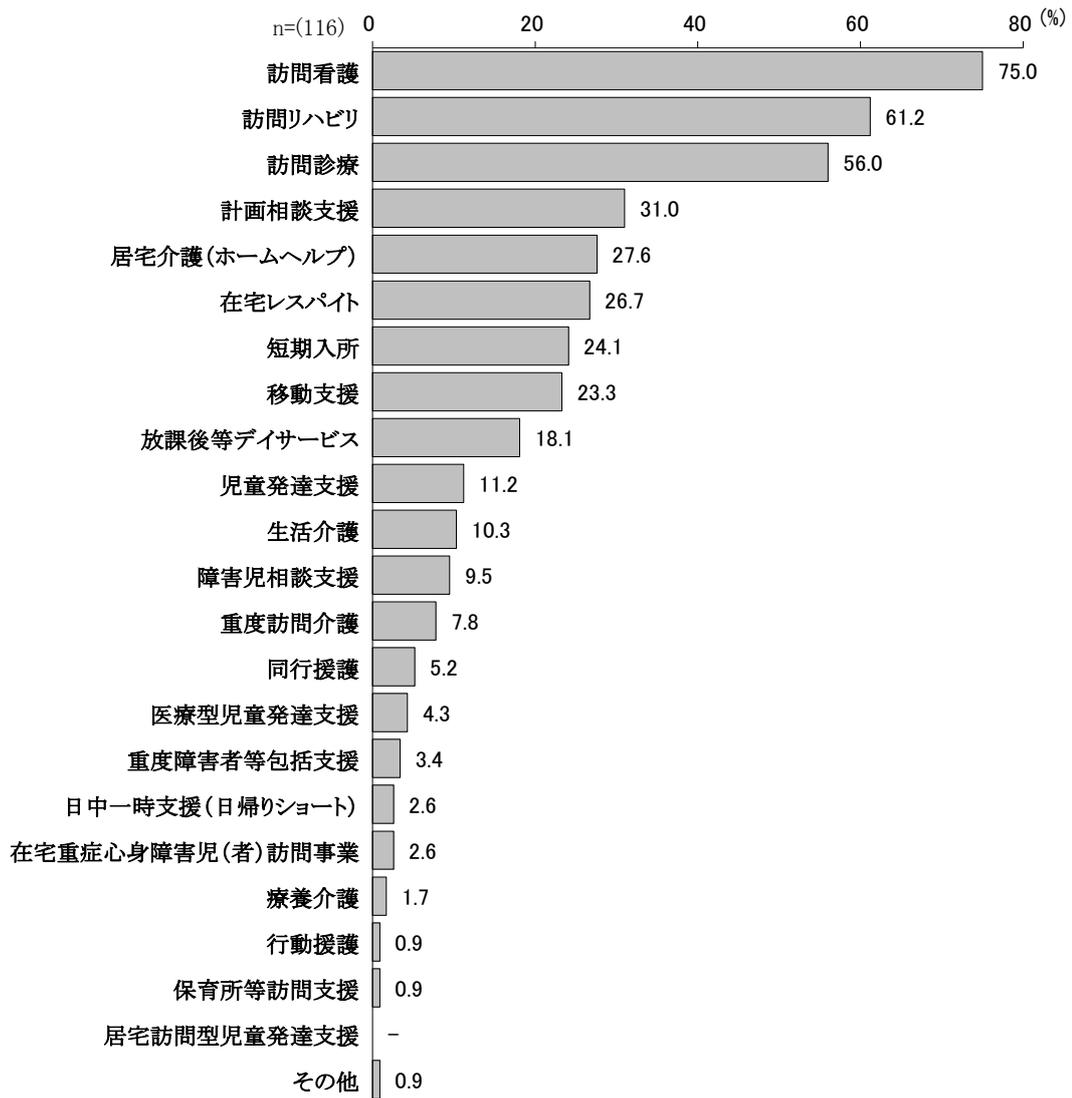
(複数回答－上位10項目)



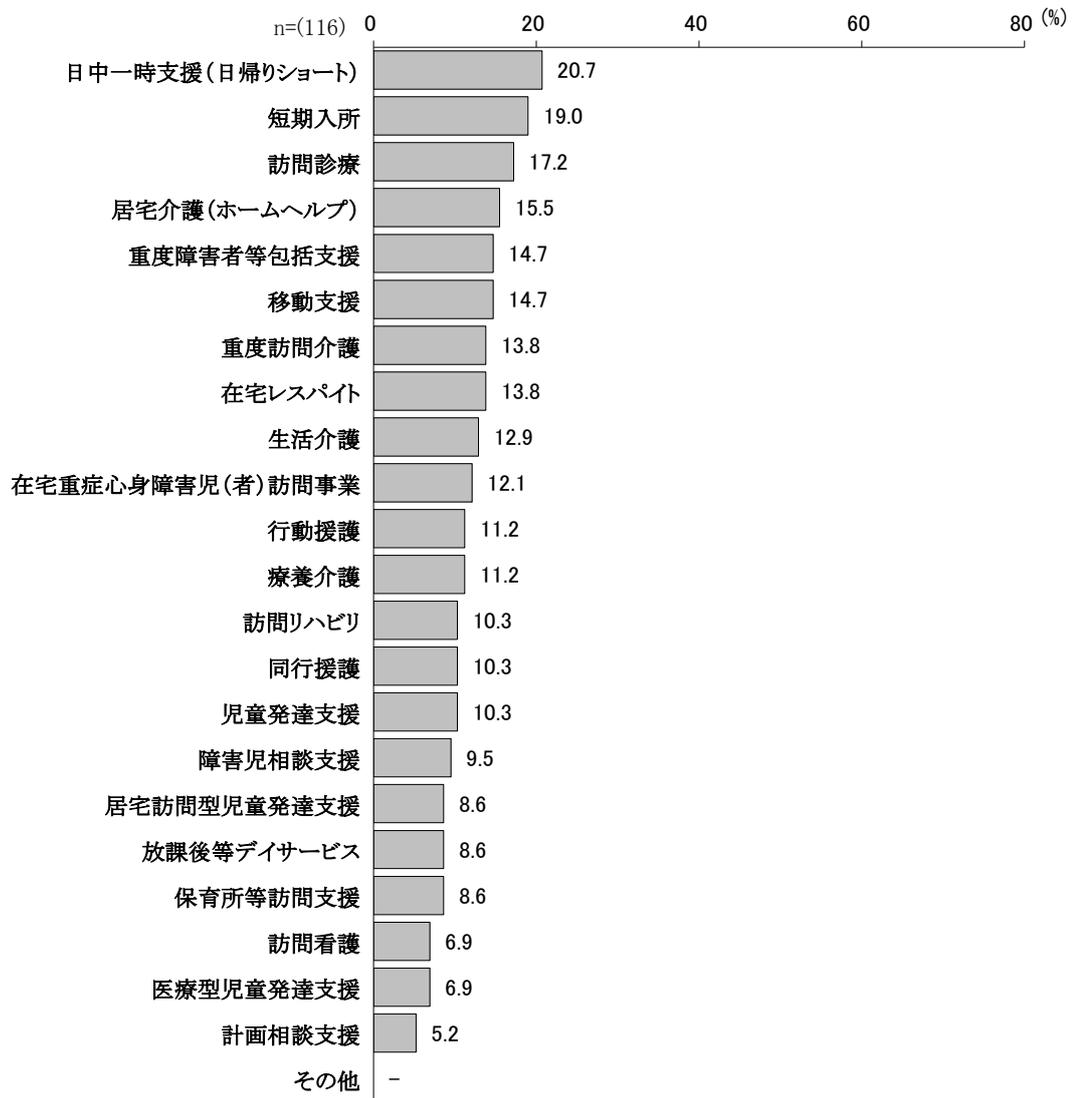
サービスの利用等について

- ◆在宅医療サービス、障害福祉サービスの利用状況：「現在、利用しているもの」は訪問看護が75.0%と最も多く、次いで訪問リハビリ（61.2%）、訪問診療（56.0%）となっている。「今後、利用したいもの」は日中一時支援（日帰りショート）（20.7%）が2割と最も多く、次いで短期入所（19.0%）、訪問診療（17.2%）、居宅介護（15.5%）が1割台と多くなっている。

現在、利用しているもの



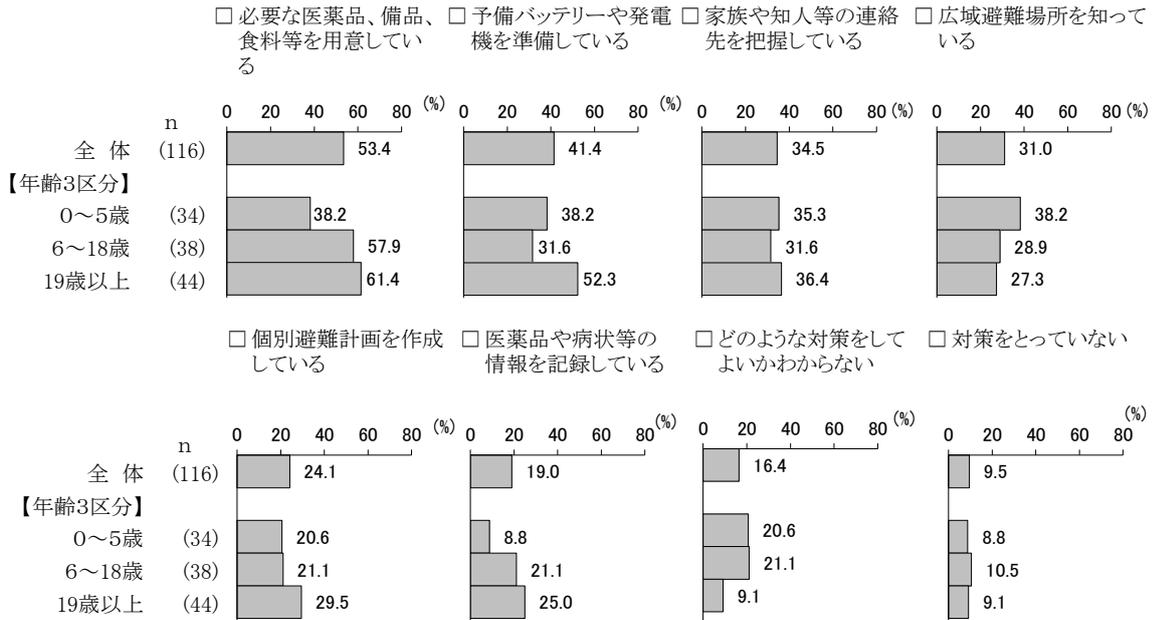
今後、利用したいもの



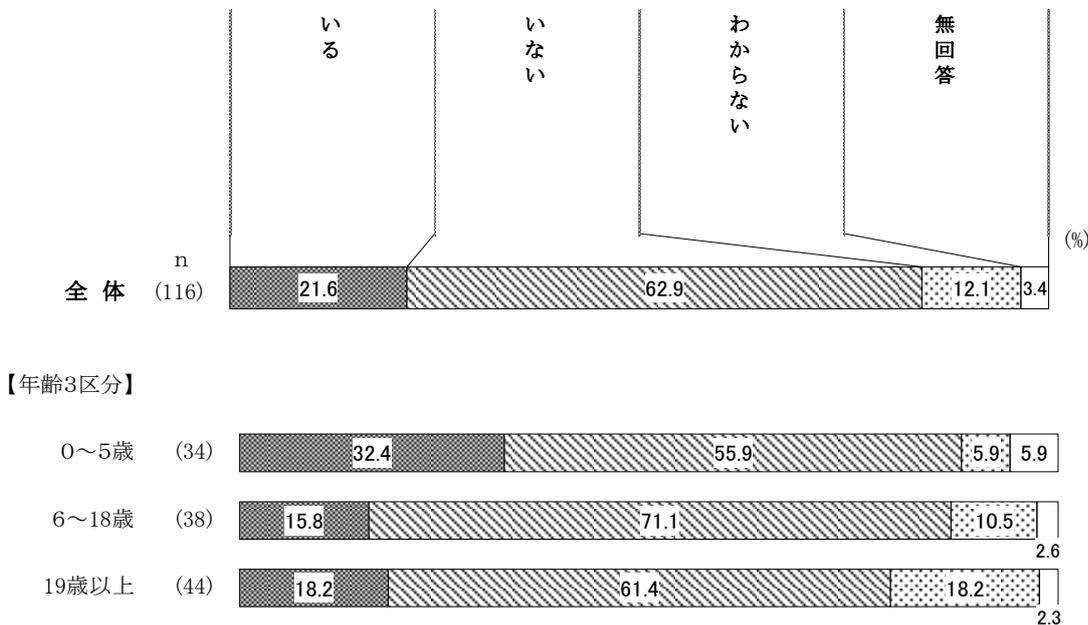
災害時の対応について

◆災害に備えた特別な対策：「災害時の非常持出用品、備蓄品の中に、障害の状況に応じて必要な医薬品、備品、食料等を用意している」は19歳以上が61.4%と多く、6～18歳では57.9%となっている。「災害時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人等に対してお願いしている」は0～5歳（5.9%）、6～18歳（13.2%）、19歳以上（20.5%）と年齢が上がるにつれて多くなっている。

（複数回答－上位6項目＋「どのような対策をしてよいかわからない」「対策をとっていない」）



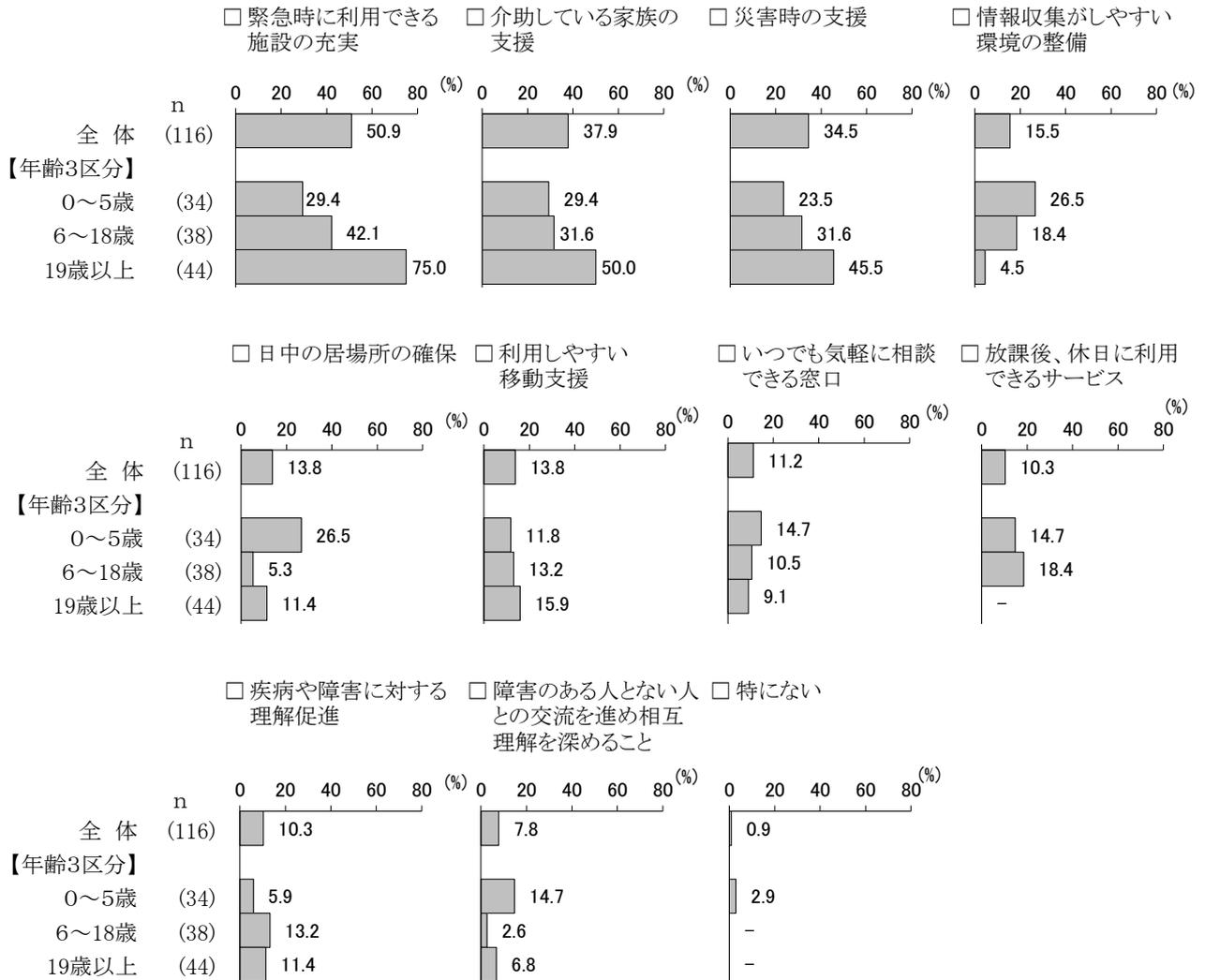
◆近所に助けてくれる人の有無：「いない」人は6～18歳が71.1%と最も多くなっている。次いで19歳以上が61.4%となっている。一方「いる」人は0～5歳が32.4%と最も多くなっている。



今後のことについて

◆充実すべき障害者福祉施策：「緊急時に利用できる施設の充実」、「介助している家族の支援」、「地震や台風など災害時の支援」は年齢が上がるにつれて多くなっている。一方「情報収集がしやすい環境の整備」は年齢が上がるにつれて少なくなっている。

(複数回答 - 上位10項目 + 「特にない」)



第7期江戸川区障害福祉計画・
第3期江戸川区障害児福祉計画
策定のための基礎調査
(江戸川区生活ニーズに関するアンケート調査)
結果報告書 概要版

【編集・発行】

令和5年3月

江戸川区役所 福祉部 障害者福祉課
〒132-8501 江戸川区中央1丁目4番1号
電話 03(5662)0044(直通)
FAX 03(3656)5874